

年齢

年齢と介護保険の適応

利用者の年齢	介護保険の対象
65歳以上(第1号被保険者)	自立している人以外
40歳～64歳(第2号被保険者)	特定疾病かつ自立している人以外
40歳未満	どんな疾病・状態でも対象にならない

年齢と医療保険の自己負担額

年齢区分	医療区分	自己負担割合	高額療養費(一般)
未就学児	乳幼児医療	2割	月の限度額
小学校入学以上 70歳未満	一般医療	3割	8万100円+(医療費-26万7000円)×1%
70歳以上75代未満	高齢受給者	1割or2割or3割 (年齢・所得に応じて)	月の限度額4万4400円 (外来の限度額1万2000円)
75歳以上	後期高齢者 医療	所得により1割or3割	

どんなところが訪問看護をしてくれるの？

・訪問看護ステーション

看護師が運営できる事業所です

医療法人や社会福祉法人併設が多く、看護師が

会社を立ち上げている事業所もあります

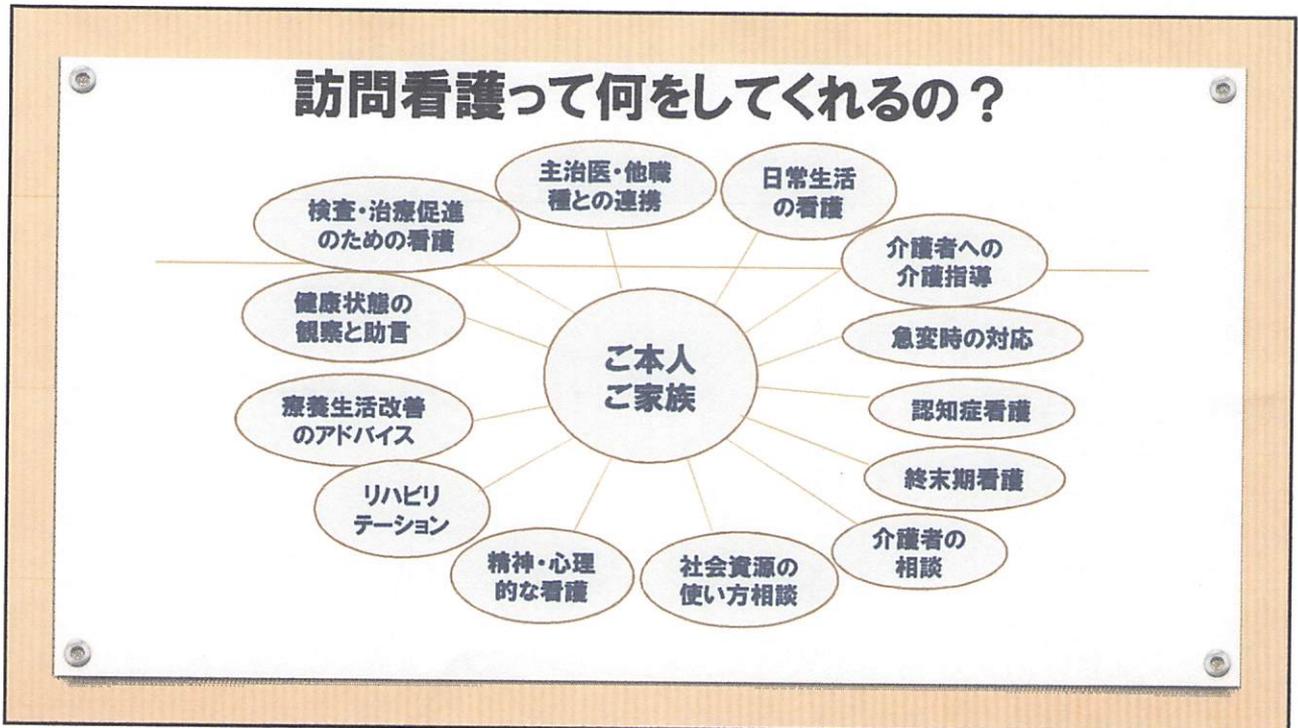
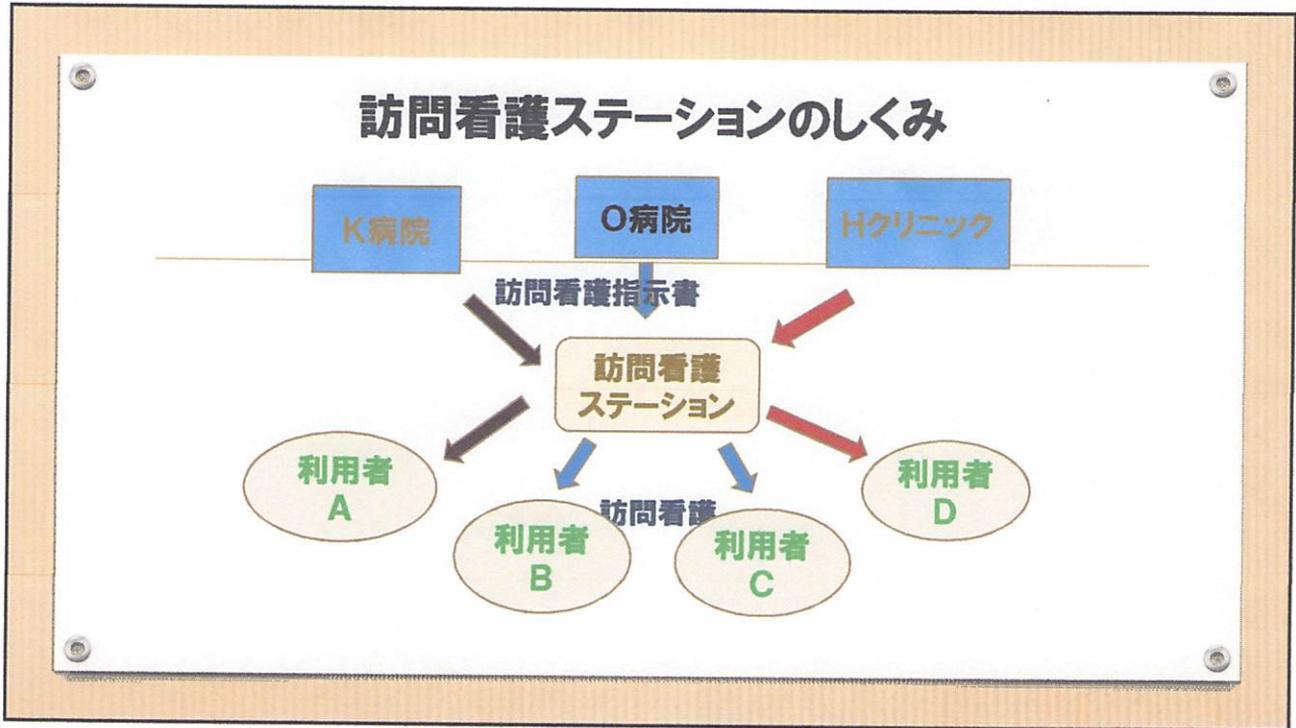
かかりつけの医師の所属機関を問いません

・医療機関の訪問看護

病院・医院の訪問看護部門です

その病院・医院に通院したり往診を受けている

場合に利用できます



訪問看護対象者の特性

<健康レベル>

- 予防から終末期
- 日常生活自立から全介助
- 認知症の有無
- 急性期から慢性期
- 要支援1から要介護5

すべての健康
レベルを対象
とする

<発達段階>

- 新生児から高齢者まで

すべての年齢
を対象とする

病院から退院するとき

- 退院前に病院に伺い、入院中の状態を把握し、在宅生活がスムーズに送れるようにします
- 病院の地域連携室のソーシャルワーカーが調整し、ご本人・ご家族・主治医・病棟看護師・在宅主治医・ケアマネージャー・訪問看護師・訪問介護士等でカンファレンスを行います

医療処置や医療機器

- 点滴・中心静脈栄養
 - 褥瘡処置
 - 胃ろう・経管栄養 ZotKMtdDv
 - 人工肛門・人工膀胱
 - 尿道留置カテーテル
 - 在宅酸素
 - 呼吸器装着
 - 服薬管理
 - 看取りと死後の処置
- 気管切開
 - 吸引
 - 疼痛緩和のための持続皮下注射

訪問回数は、
その方の状態や
介護状況など
必要性に応じて
変更します。



訪問看護を受けるには、 料金はいくらかかるの？

<医療保険>

- その方の保険の負担割合によります
- 身体障害者の医療受給者や特定疾患の医療受給者など、公費対象の方の場合は免除や減額があります

<介護保険>

- 定められた額の1割

急変時の対応

- 在宅療養に必要な介護方法や医療行為(吸引や胃ろう栄養等)は、ご家族が自信を持ってできるまで指導します
- 状態の観察を行い、あらかじめ起こりうる症状を予測し、主治医の指示のもと対応方法を指導します
- 緊急時の対応を主治医を含めて話し合い決めておきます
- 訪問看護ステーションは、24時間対応します

自宅で最期を迎えるとき

- 在宅ケアの延長に最期のときがあります
- 最期のときをどこでどのように迎えたいか
— ご本人は… — ご家族は… —
- その方らしく、その家らしく、ご家族やお友達に囲まれて最期の時が迎えられるように支援します
- 最期のときが近づくと身体に変化が現れます。苦痛や恐怖ができるだけ少なくなるようにケアを行います
- ご家族にこれから起こりうることを丁寧に説明し、残された時間を大切に過ごして頂きます
- エンゼルケア
- グリーフケア

リハビリスタッフの役割は…

- できることを続ける
- 暮らしやすい環境にする工夫
- 身体を暮らしやすい状態にする
- 介護がしやすい状態にする
- 困っていることを解決する
- 運動の機会をつくる
- 社会参加へのステップ

